

製品名: TIM-1 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab18941

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:300
分子量	40-50kDa

抗原情報

遺伝子名	HAVCR1
別名	Hepatitis A virus cellular receptor 1 (HAVcr-1) (Kidney injury molecule 1) (KIM-1) (T-cell immunoglobulin and mucin domain-containing protein 1) (TIMD-1) (T-cell membrane protein 1) (TIM-1) (TIM)
遺伝子 ID	26762.0
SwissProt ID	Q96D42
免疫原	AA 範囲: 40-100 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

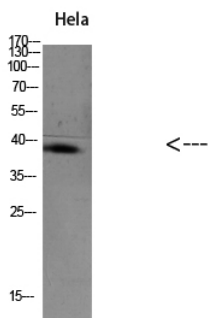
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ヒト A 型肝炎ウイルス (HHAV) および TIMD4 の両方に対する膜受容体です。コードされているタンパク質は、喘息およびアレルギー性疾患の緩和に関与している可能性があります。参照ゲノムは、HHAV 血清陽性者におけるアトピーに対する防御作用を付与する MTTVP アミノ酸配列を保持する対立遺伝子を表しています。この遺伝子の選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。関連する擬似遺伝子は、4 番染色体、12 番染色体、および 19 番染色体上に同定されています。[RefSeq 提供、2015 年 4 月]、機能: T ヘルパー細胞の発達および喘息およびアレルギー性疾患の調節に関与している可能性があります。TIMD4 受容体 (類似性による)。ヒト A 型肝炎ウイルス (HHAV) 感染の場合、ウイルスの細胞表面受容体として機能する。多型性: HHAV の血清陽性は、Met-Thr-Thr-Val-Pro-157 ins および Met-Thr-Thr-Thr-Val-Pro-157 ins 変異を持つ人をアトピーから保護する。近代化により HAV の血清陽性率は低下したが、喘息、アレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎などのアトピーの発現が増加している可能性がある。対立遺伝子変異は、白人、アジア人、アフリカ系アメリカ人の HAV 感染率に影響を与えない。類似性: 免疫グロブリンスーパーファミリーに属します。TIM ファミリー。類似性: 1 つの Ig 様 V 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含みます。組織特異性: 広く発現しており、腎臓と精巣で最も高く発現します。ヘルパー T 細胞応答の発達中に活性化 CD4+ T 細胞によって発現される。

研究分野

免疫学

画像データ



KB Hela 293T マウス脳ライセートのウェスタンブロット分析。抗体は 1000 倍希釈。二次抗体は 1:20000 倍希釈。